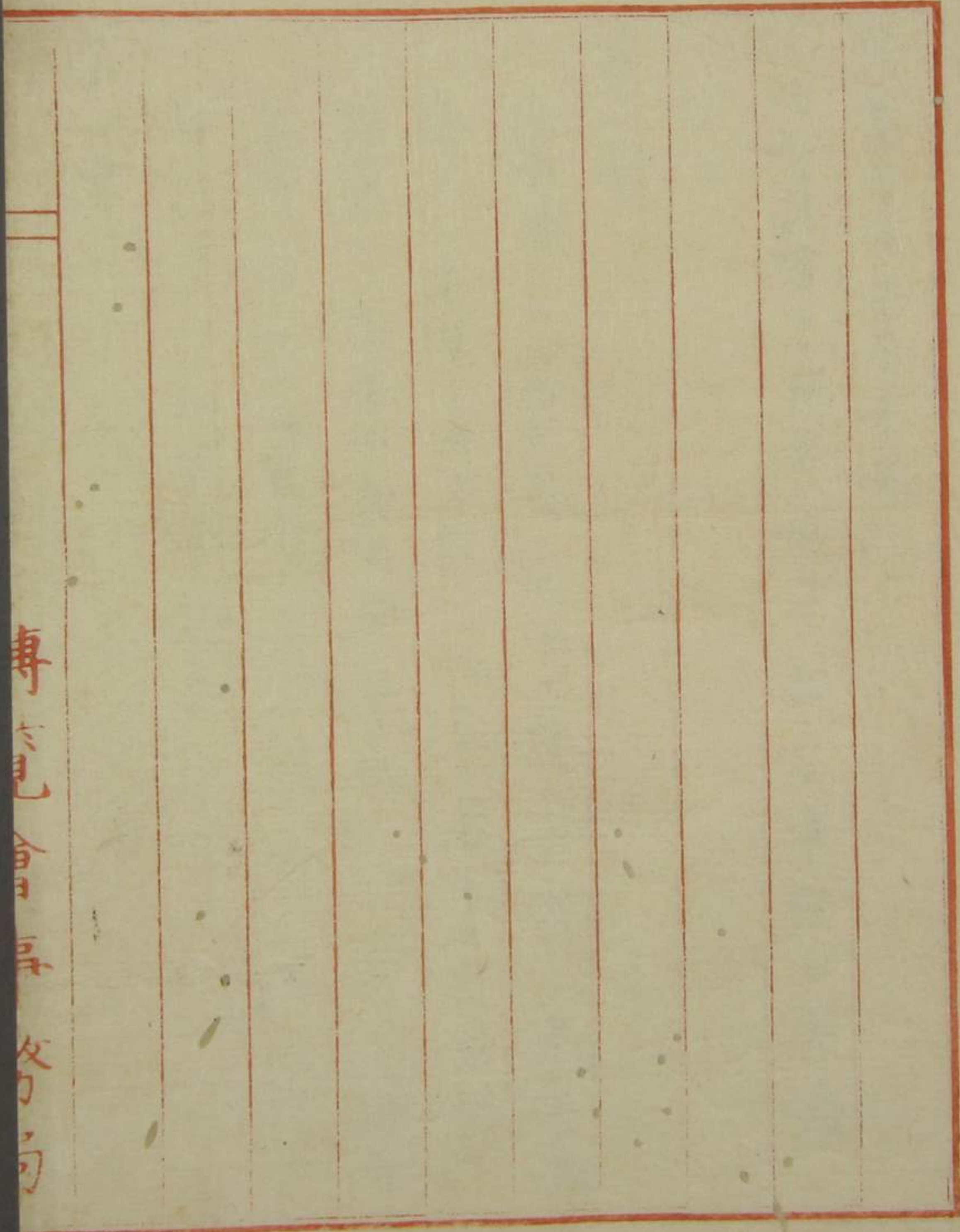


傳
見
會
事
父
力
可



910



114
A3643



博覽會事務局章程

此局擔當スル職務ノ要旨ヲ記シテ章程トナシ左ニ掲

示ス

第一章

本局職トスル所中外ノ物品天造人エヲ問ハズ悉ク之ヲ蒐
集シテ其實ト用トラ詳ニシ物産ヲ蕃殖セシメ其書ヲ
編纂シテ廟堂用物成務ノ用ニ供スルヲ掌ル又海外
交際ノ國ニ於テ博覽會ノ舉アルニ臨ミ出品ヲ請ハレ之ニ
應スルヲアレハ其事務ハ必此局ノ主任タリ

第二章

博覽會事務局

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

博物館ヲ設テ天造人エノ諸品古器舊物其他中外ノ物品ヲ集メ部門ヲ分テ之ヲ陳列シ毎月一六日開館シ或ハ臨時數旬ノ間開館シテ衆庶ノ縱觀ヲ許シ工藝ノ進歩制度ノ沿革ヲ考證スルニ供シ知見ヲ擴充スルノ助トナス

第三章

書籍館ヲ設テ廣ク中外ノ書籍ヲ備ヘ衆人ノ來テ鑄閱スルヲ許シ古書舊記ヲ保全シテ永世ニ傳フルヲ務ム

第四章

植物園ヲ設テ中外ノ植物ヲ培養試驗シ且禽獸ヲ園養シ実物ヲ以テ人ニ示ス就中有用ノ草木ハ多ク養テ内國

ニ蕃殖セシメ民益ヲ興スヲ務ム

第五章

諸産物ノ性質ヲ詳ニシ古器物ヲ檢センガ為ニ諸國ニ派出シテ勤植金石并其他品物ヲ採集スルヲ要ス是其産所ヲ詳ニシ実物ニ就テ究理セサレハ物産ノ發明ヲ為シ難ク且之ヲ詳明記載スル能ハザレバナリ

第六章

歐米各國新發明ノ器械ヲ運用試驗シテ之ヲ人ニ示シ又模造シテ内國ニ傳ヘ且從來ノ諸器物ニ改正ヲ加ヘ昔日迂遠ノ長物ヲシテ今日辨利ノ器トナシ兼テ輸出ヲ益ス

ノ原ヲ務ム

第七章

各地方ニ於テ臨時博覽會ノ挙アル時或ハ其地方官ヨリ
館ノ物品ヲ借ラシテ請フアレハ高議斟酌シ其請ニ應
テ僻遠ノ人材ヲ誘導スルヲ務ム或ハ局ノ人負之ニ赴キ
之ヲ檢スルヲアルベシ

第八章

本局ノ職務ヲ博物考證工業庶務ノ四科ニ分テ十掛ヲ
命シ各職事ヲ擔任セシムレニ共ニ相協輔シテ缺漏過誤
ナカラシムベシ

第九章

本局判任官ヲ進退増減セシムル事局長ヨリ之ヲ上申
スベシ

博覽會事務局

本局官員ニ奉務ヲ依據遵守セシムル為メ各
務科ノ職掌ヲ記シテ左ニ掲載ス

第一 博物科ニテ動物植物礦物ノ三掛ヲ管ス

其一 動物掛

動物学ヲ脩シ動物ヲ記載シテ其書ヲ編輯シ
園養剥製陳列等總テ動物ニ関スルヲ掌ル

其二 植物掛

植物学ヲ脩シ中外ノ植物ヲ記載シテ其書ヲ
編纂シ培養乾腊陳列等ノ一ヲ主宰シ又植物
園ヲ管理シ園丁ヲ指揮シ藥品ヲ蕃殖シ總テ

植物ニ関スルヲ掌ル

藥品拂下ノ時ハ會計掛ト協議シテ處分スヘシ

其三 礦物掛

礦物学ヲ脩シ中外ノ礦物ヲ蒐集記載シテ其書ヲ編纂シ且之ヲ陳列シテ其用ヲ廣ク人ニ示スヲ掌ル

第二 考證科ニテ考古書籍ノ二掛ヲ管ス

其一 考古掛

考古ノ書ヲ編纂シ古器舊物ヲ按シ時勢ノ盛衰今古ノ沿革ヲ徴シ古記録ヲ按シテ名所曰

跡ヲ保存シ其来由ヲ正シ日記古書ヲ保存シ古器物等ノ陳列ヲ掌ル

其二 書籍掛

書籍館ニ在テ書籍并圖書ノ出納保護ヲ掌ル
缺本ヲ補ヒ珍奇ノ書ハ副本ヲ製スルヲ管ス

第三 工業科ニテ器械殖産ノ二掛ヲ管ス

其一 器械掛

歐米諸國新發明ノ諸器械ヲ運用試験シテ人ニ示シ且模造シテ内國ニ傳フルヲ掌ル

其二 殖産掛

國産ヲ蕃殖セシメ輸出ノ額ヲ増スルヲ務メ且内国從來ノ諸畜物ノ改正ヲ加ヘ又各地方産并此掛ニ関スル舶齎品ノ列品ヲ掌ル以上諸掛ニ於テ諸物品圖書等ノ買収ハ之ヲ會計掛ニ詢リ局長ニ上申シ鈐印ヲ得テ後施行スベシ

第四 庶務科ニテ書記翻譯會計ノ三掛ヲ管ス

其一 書記掛

諸議案ヲ起草シ其事ニ屬スル摺件ヲ諸省使

府縣へ問訊往復シ諸文書ノ受付内外官負ノ應接記録編集ヲ掌ル往復ノ書類ハ之ヲ日録ニ記シ又局中一般ノ俗事ニ関シ玄閑語門衛ノ者ヲ督ス事務ハ必局長ノ命ヲ奉シ其判ヲ受レ凡瑣末ニシテ稟白ヲ待サルハ臨時帳議シテ決シ後上申スルモ可ナリ

其二 翻譯掛

外国人ノ應接及贈答ノ文書其他要用ノ洋書ヲ譯スルヲ掌ル又學術ニ関スル書ヲ譯スル片ハ博物科ト協議スベシ

其三 會計掛

局中定額金ヲ預リ金錢出納諸品買收支給管
 繕等ノ一ヲ掌ルト雖凡總テ書記掛ト協議シ
 テ枉費ナカラシムベシ就中會計簿ハ明細ニ
 記載シ容易ニ解スルヲ旨トシ金錢出納ハ必
 局長ノ鈐印ヲ認テ施行スベシ又消防ノ一ヲ
 督ス

局中心得

一 凡百ノ公事ヲ辨理スル簡易明了ヲ旨トシ紛
 雜アルヘカラス
 一出勤退散凡定規ニ依ル出頭セバ直ニ勤仕録
 ニ押印シ月末之ヲ局長ニ致シ考課ニ供ス
 病氣其他事故アリテ不參ノ節ハ其旨局長
 へ届出スベシ
 一 判任以下毎日二名宛輪番宿直スベシ
 但宿直中至急事件ヲ除ノ外其書類翌朝出
 局ノ同僚へ授付スベシ且博物館警衛ノ者

ヨ督ス

一 退散ノ時固藉ハ各其筐ニ收メ當務書類ハ自
 其手箱ニ收メ散逸セシムベカラズ其最緊要
 ナルハ宿直ノ者ニ委託スベシ
 一 近火等ノ節ハ速ニ駈付圖書類ハ勿論列品ニ
 至ル迄庫中へ收入シ兼テ分付シアル所ノ救
 火夫ヲ指揮シテ消防ノ事ニ注意スベシ

博物科

田中芳男

動物掛

久保弘道

田中房種

中島仰山

小林常賀

館野政重

永田宗信

養畜方

専任員 倉田 芳男

竹内米吉

中田正延

牛飼 壺人

動物製造人
三人

植物掛

武田昌次

動物掛兼

久保弘道

小野職愨

服部雪齋

廣瀨直水

横川政利

小森頼信

高久富屋

小島延壽

山岡仁平

本局園丁
五人

藥園丁
拾六人

礦物掛

當考古掛助

織田信徳

考證科

町田久成

考古掛

蜷川式胤

岸光景

菅 蒼圃

柏木貨一郎

書籍掛

星野壽一

水野清方

尾里政道

塙 忠韶

工業科

信夫 繁

土岐政孝

関澤明清

器械掛

殖産掛

鹽田 真

石田為武

山本章夫

服部杏圃

傳見會事

性賢會事

井口直樹

小野政典

庶務科

山高信離

書記掛

石川 巖

白石千別

朝日

一宮廣敷

野村重治

福永弘道

翻譯掛

古川正雄

和田收蔵

會計掛

遠藤直道

河原徳立

木村武治

玄関詰

関 常重

常見嘉勝

傳見會事

寺川信常

富田傳十郎

門衛

平野信道

小野金瓶

工藤庫治

堀 並

給仕

遠藤 豐

岩平 朗

列品所誥

小林政雄

高野元脩

石寺勝行

富田清次

小使
十二人

性
賢
會
專
務
合